

修徳塾はこんなところですよ

皆さんは高輪修徳塾についてどのような印象をお持ちですか？「中学・高校生の時から一生懸命信仰や学生班活動に参加していないと入塾できないのでは？」、または「成績が良くていい大学に行っていないと塾に入れてくれないのでは？」と考えてはいませんか。そんなことはありません。もちろん入塾前から積極的に学生班で活動していた塾生や学業の優秀な塾生もいますが、むしろ「修徳塾で有意義な大学生生活を送りたいので、これから頑張るぞ！」という熱い気持ちを持った学生さんであれば、どなたでも大歓迎です。それでは、修徳塾の素顔を簡単に紹介しましょう！

～信仰編～過去の経歴や実績ではありません、これからのやる気です

Q1 中学、高校時代から学生班で役員をやったりして積極的に活動してきた人しか入塾できないのでしょうか？

A1 そんなことはありません。中には高校時代から地区の役員として活動していた塾生もいますが、多くの塾生は入塾してから地区の活動に参加し部員さんのお世話をしたり、地区の役員になったりしています。大事なのは、これからみ教えをもっと学んでいきたいという“やる気”です。

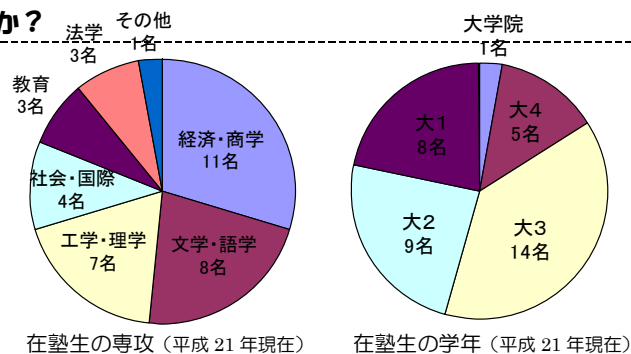
Q2 塾生は学生班活動にどのように参加しているのでしょうか？

A2 塾または大学の所在地に近い地区に所属して活動しています。そして毎月第3日曜日に高輪教会で行なわれる学生班修養会や身延団参に参加したりしています。学生班活動に一生懸命参加している塾生の中には学生班修養会のお手伝いや日光林間学校のスタッフとして頑張っている塾生もいます。

～学業・研修編～いろんな大学・いろんな学部・分野の集まりです

Q1 難関大学に行っている学生しか入塾できないのでしょうか？

A1 塾生は都内近県の様々な大学に在籍しています。大学の専攻も法学、経済学、工学、など様々で大変バリエーションに富んでいます。また学年も大学1年生から大学院生と幅広く、学業・就職、プライベートなど後輩が先輩に気軽に相談できることも塾の魅力のひとつです。

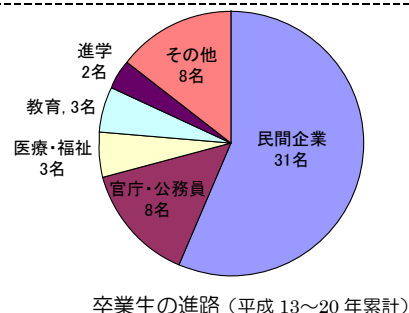


Q2 塾生の大学での成績は皆、良いのでしょうか？

A2 学内でもトップクラスの成績を修めている者もおり、大半の塾生は真摯に取り組んでいます。一方、大学や塾での生活に慣れてしまい、学業に対する取組みが甘くなってしまう塾生も散見されます。塾では大学の学業を修めることを前提とした研修を行っており、学業成績については自己責任のルールを適用しています。学業への取組みが甘い塾生には生活面も含め厳しく指導し、自助努力するよう促しています。

Q3 塾生の進路について教えてください。

A3 卒業した塾生は官庁や企業など様々な分野で活躍しています。一方、求人倍率も上昇傾向にありますが、依然として就職活動の厳しさは続いています。就職については早い時期からの地道な取組みが大事ですが、“社会に対する認識が浅い”ことも思うような就職に繋がらない要因として考えられます。そこで従来の研修にプラスして企業見学会などを開催し、社会の実態や厳しさを肌で感じてもらい、各々の将来に対する取組みに活かしています。



～生活編～塾の活動とプライベートな時間をうまく両立させています

Q1 塾ではほとんど団体行動で、個人の自由な時間が少ないのではないですか？

A1 そんなことはありません。最低限のルールはありますが塾生皆、それぞれのライフスタイルを持って生活をしています。例えば日光林間学校では全員揃って朝読経をしますが、修徳塾では塾生の主体性にまかされています。多くの塾生は朝食の前に読経していますが、中には大学から帰宅してから読経する塾生もいます。また部活やサークル活動に参加している塾生も多くいます。

Q2 門限はありますか？また外泊はできますか？

A2 塾の門限は午後11時ですが、大学の事情などで止むを得ず門限を過ぎる場合は予め舎監に報告しています。また外泊をする場合は予め所定の外泊届簿に記入する必要があります。ただ塾での生活が基本ですから、無断外泊・必要以上の外泊などは避けたいものです。

～メリット編～塾ならではのいい点がこんなにあります

Q1 信仰面を除けば、普通の大学の学生寮とあまり変わらないように思うのですが、修徳塾に何かいいことがあるのでしょうか。

A1 修徳塾ならではの様々な行事・企画があります。例えば、社会での視野を広げ、知識を深めるために下記のような研修を行ったり、就職支援の一環として上述した企業見学会等を開催したりしています。また全国さらには海外の同世代の学生と知り合い交流できることは、視野や価値観を広げる一助になることでしょう。更には塾生OB・OGが修徳塾を訪れ、後輩の在塾生に対し進路の相談にのるなど、先輩・後輩の絆も塾の魅力のひとつです。

Q2 塾の研修活動にはどのようなものがあるのでしょうか。また年間のスケジュールを教えてください。

A2 修徳塾では社会に出ても役立つ資質を磨くために教養セミナー、研究発表会、研修旅行などの研修を行っています。教養セミナーは各界で活躍している方を講師として招聘し講演頂いています。研究発表会は時事問題等のテーマに関し、調査・考察を進め、最終的にパソコンとプロジェクターを使用して発表してもらいます。研修旅行は目的・行き先・交通手段など全て塾生が自ら考案し見聞を広げています。また平成20年度の年間スケジュールは大よそ下記のとおりです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入塾式 入塾生歓迎会		教養セミナー	（学生班身延団参） 研究発表会				教養セミナー	研究発表会 忘年会		研修旅行	卒業生送別会

～費用編～奨学金制度などを上手に活用することで経済的ご負担を軽減することができます

Q1 塾の費用はどれくらいですか？ 家庭への負担が心配です。

A1 居住費、食費、雑費を合計した月額8万です。食事は朝食が火～土曜日、夕食が月～土曜日までであり、事情により食事を取れなかった際は、翌月、その回数に応じて返金されます。また上京すると学費の他に生活費もかかるため、ご家庭の負担が心配されるかと思います。そうした中、奨学金を活用したり、アルバイトをしたりして家庭への負担を軽減するように努めている塾生も多くいます。

Q2 奨学金制度を活用している塾生はいますか？

A2 約半数の塾生が奨学金を活用しています。塾生が活用している奨学金は日本学生支援機構（旧育英会）が大半ですが出身地の都道府県などの奨学金制度を活用している者もいます。奨学金には支給される金額や利子の有無などの種類があり、申請する際の審査条件（高校の成績や各ご家庭の収入・ご事情など）が異なるため注意が必要です。詳しくは在籍している高校に聞いて頂くか、日本学生支援機構のホームページ（URL：<http://www.jasso.go.jp/>）をご参照下さい。また大学1年から日本学生支援機構の奨学金を活用する場合は、高校在学中に申請した方が良いでしょう。詳しくは在籍している高校にお問い合わせ下さい。

Q3 アルバイトをしている塾生はどれくらいいますか？

A3 約半数の塾生がアルバイトをしています。アルバイト先は学習塾の講師や家庭教師、飲食店の店員など多種多様です。アルバイトで得た収入の使いみちは、毎月の小遣いとする者、学費の一部を負担している者、貯金して旅行の費用にあてる者など様々です。一方、学生の本分は勉学であるため、学業に支障がないように注意を促しています。

～塾生 0B、在塾生からのメッセージ～

塾生 0B(3期生) T . K . (平成 18年度卒業)

修徳塾で過ごした4年間は私にとって本当にかけがえのないものです。当初信仰を信じきれず集団生活にも馴染めなかった私も、色々な方の支えで前向きになることができました。そして悩み落ち込んでいた時に、初めて真剣に信仰と向き合い、素晴らしさを実感することができたのです。今は地元の函館に戻り両親と生活を共にしています。改めて両親へ感謝すると共に、少しでも親孝行をしていきたいと思っています。また函館教会では青年部役員を務めています。修徳塾で学んだことを活かして、少しでも人の役に立てるよう努力精進して参ります。

塾生 0B(3期生) M . M . (平成 18年度卒業)

修徳塾の魅力の一つは“自分の意志があれば何でもやらせてもらえるところ”だと思います。塾修養会をはじめ勉強会や懇親会など、“自分達でこうしたい”と思うことを塾生同士相談しながら進めていきました。一方でみんなをまとめて物事を前に進めていくことの難しさを実感することが度々あります。そのような中、人の意見にじっくりと耳を傾けたり、自分なりに信仰に取組んだりする中で、自分自身の考え方や信仰の活かし方をブラッシュアップする機会に繋がっていきました。大学時代は自分の為に費やせる時間が多いと思います。是非、修徳塾で有意義な学生生活を送って下さい！

塾生 0B(5期生) K . F . (平成 20年度卒業)

大学1年のときから体育会系の運動部に所属し、週3日間、部活動に励んでいました。また家庭の負担を減らしたいと考え、奨学金とアルバイトで塾費も含めた生活費全般を賄うようにしました。大学1年のときは、学業や部活、学生班・塾の活動、アルバイト等を両立させることに大変苦労しましたが、塾の先輩や仲間が叱咤激励してくれ、試行錯誤の連続でしたが自分なりに両立の仕方を見つけることができました。塾の良いところは互いに相談し合えるところ。勇気を出して周囲の人に自らの思いをぶつけていくことが大切だと思います。

在塾生(7期生) C . K . (大学3年)

修徳塾では塾生の自主性が尊重されています。定期的な研修活動もありますが、その他は全て塾生同士で相談しながら企画しています。いざ何かをやらうとなった時には一致団結して修行に取り組み準備を進めていくのです。その中で自然と礼儀や様々な知識を身につけることができ、学校生活で役に立ったこともあります。普段から信仰の話はもちろん些細な話から会話が途切れることなく、気がつくとな人が集まっていることもあります。毎日が楽しく本当に充実しています。私たちと一緒に有意義な学生生活を送りましょう。

更に詳しいことを知りたい方は、どうぞ遠慮なく、修徳塾までご一報下さい。また本部や高輪教会にお越しの際は、是非、修徳塾にお立ち寄り下さい。塾生一同、心よりお待ちしております。

高輪修徳塾運営委員会